

北陸の水辺を考える

期日：平成 15 年 1 月 25 日（土）13:00～17:30 現地見学会
 平成 15 年 1 月 26 日（日）10:00～16:00 ワークショップ
 場所：金沢市中央公民館（本多町館）および金沢周辺（現地見学会）
 主催：応用生態工学会
 後援：国土交通省金沢工事事務所、石川県、金沢市、北陸建設弘済会

開催趣旨

河川法が平成 9 年に改定されて 5 年が経過しました。これにより治水、利水に加えて河川管理の目的に河川環境の整備と保全が加えられました。また、最近では河川の管理は流域圏を視野に入れた総合的、広域的な視点の必要性が指摘されてきています。この中で生態学、土木工学を中心とした学・知・術の交流はますます重要になってきました。

本ワークショップでは、北陸の代表的な水辺である潟、用水、河川などの現場をみて、総合的な流域管理に向けての理念や自然再生などの具体的な実践の進め方、その中で応用生態工学の寄与できることなどを議論する場としたいと思います。北陸地域では、潟、雪、湧水、用水などをキーワードとする独特の環境に関する課題が、流域に内包されています。そこで、水辺の視点から始めて、今後 3 年程度連続してワークショップを開催し、自然山地域、里地里山、ダム周辺、急流河川など典型的な地域の問題を順次取り上げ、最後には流域全体で河川流域のあり方、自然再生の方向性を議論していく予定です。また、本ワークショップは一般に広く公開することから、今後の市民、行政、研究者などの多様な主体の交流、連携のきっかけになればと考えています。

鞍月用水

平成 15 年 1 月 25 日（土）（13:00 金沢駅西口集合）
 13:00～17:30 現地見学会（金沢市内の用水、多自然型川づくりの現場、潟など）
 18:30～20:30 交流会（金沢市内・会場は決まり次第お知らせします。）
 平成 15 年 1 月 26 日（日）（9:30 受付開始）
 10:00～16:00 ワークショップ（事例報告、総合討論）
 報告発表・総合討論参加予定者
 玉井信行（金沢大学） 矢島孝昭（金沢大学） 辻本哲郎（名古屋大学）
 佐野修（いしかわ動物園） 神長耕二、畠中泰彦（金沢工事事務所） 宮崎光二（石川県両生爬虫類研究会） 浜谷晃（金沢市） 田中晋（富山大学）ほか
 定員：130 名（定員になり次第締め切ります）

参加申し込み方法・参加料
 裏面をご参照ください
 申し込み期限
 2003 年 1 月 20 日（月）

【プログラム】(予定)

1月25日(土) 13:00～17:30 現地見学会と交流会

13:00 金沢駅西口集合

13:30-17:30 バスにて金沢市内の用水、梯川多自然型川づくりの現場、潟などを訪問

18:00頃 金沢駅着

18:30-20:30 交流会(場所：金沢市内 決定後参加希望者に連絡)

1月26日(日) 10:00～16:00 ワークショップ

会場：金沢市中央公民館(本多町館)

所在地：〒920-0993 金沢市下本多町 6-27

TEL:076-220-2462 FAX:076-220-2461

9:30 受付開始

10:00 開会

10:00～10:20 趣旨説明と最近の話題(金沢大学教授玉井信行)

10:20～10:50 事例報告1 「手取川・七ヶ用水の水草」

(いしかわ動物園飼育課長 佐野 修)

10:50～11:20 事例報告2 「梯川の水辺の現状と国土交通省の取り組み」

(金沢工事事務所 調査一課長 畠中 泰彦)

11:20～11:30 休憩

13:00～13:30 事例報告3 「北陸の両生類とその生息環境」

(石川県両生爬虫類研究会代表 宮崎 光二)

12:00～13:00 昼食

11:30～12:00 事例報告4 「金沢市の用水と今後の管理上の課題」(仮題)

(金沢市用水・みち筋整備課長 浜谷 晃)

13:30～14:00 事例報告5 「北陸の淡水魚類の現状」(仮題)

(富山大学教授 田中 晋)

14:00～14:10 休憩

14:10～16:00 総合討論 「北陸の水辺を考える」

(金沢大学教授 玉井信行、金沢大学教授 矢島孝昭、名古屋大学教授 辻本哲郎、大阪府立大学教授 谷田一三、金沢工事事務所長 神長耕二 ほか)